

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 24 年度

【事務事業の基本的事項】

| | | | | |
|------------|---|------------------------|-----------|---------------|
| 事務事業名 | 新予防ケアプラン作成事業費 | | | |
| 担当課係名 | 長寿支援 課 | 包括支援センター 係 | 作成者 | 浅利 和磨 |
| 総合計画での位置づけ | 施策の大綱 | すべての生命を慈しむ健康福祉のまち | | 総合計画のページ |
| | 基本計画 | 高齢者福祉と介護保険事業の充実 | | |
| | 主要施策 | 高齢者介護予防の推進および介護サービスの確保 | | 53 |
| 予算費目 | 一般 会計 | 3 款 民生費 | 1 項 社会福祉費 | 8 目 包括支援センター費 |
| 事業期間 | 平成 24 年度 ~ 平成 24 年度 | | 新規/継続の区分 | 継続 |
| 性質区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理 | | | |
| 根拠法令等 | 介護保険法 | | | |
| 事務区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 | | | |
| 運営方法 | <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 直営（一部民間委託） <input type="checkbox"/> 民間委託（全部） <input type="checkbox"/> 補助 | | | |

【事務事業の実施内容】

| | |
|----------------------------|---|
| 事業の対象 (誰のため・何を) | 仙北市内に居住する介護保険要支援1および要支援2の認定者。 要介護状態が軽く、生活機能が改善する可能性が高い方。 |
| 事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか) | 対象者が可能な限り、その居宅において、自立した生活を営むことが出来るよう支援を行う。 |
| 事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか) | 本人の心身の状態や生活歴等から、課題を分析し目標を決めて達成するため支援のメニューの検討を行うと共に必要に応じケアプランを作成し、適宜効果について評価を行う。委託した場合は各居宅事業所のケアマネージャーへマネジメントの支援を行う。 |

【事務事業の推移】

| 項 目 | | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | |
|-------|------------------|--------------|-------------|-------------|--------|
| 効果 | 活動指標 | 要支援(1・2)認定者数 | 目標 人 | 406 | 377 |
| | | | 実績 人 | 406 | 469 |
| | | | 達成度 % | 100.0% | 124.4% |
| | 成果指標 | 介護予防支援計画数 | 目標 件 | 3,060 | 2,940 |
| | | | 実績 件 | 3,005 | 2,770 |
| | | | 達成度 % | 98.2% | 94.2% |
| 投下コスト | 項 目 | 総事業費 | 23年度決算額(千円) | 24年度決算額(千円) | |
| | 事業費(人件費を除く)(A) | — | 10,893 | 10,687 | |
| | 人 件 費 (B) | — | 4,240 | 4,143 | |
| | 職 員 数 | — | 0.50 | 0.50 | |
| | 職員平均人件費 | — | 8,479 | 8,286 | |
| | (A)+(B) 投下コスト | — | 15,133 | 14,830 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | — | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | — | 0 | 0 |
| | | 地方債 | — | 0 | 0 |
| | | その他 | — | 10,893 | 10,687 |
| | 一般財源 | — | 4,240 | 4,143 | |
| 単位コスト | 活動指標1単位当たりコスト(円) | — | 37,273 | 31,620 | |
| | 市民1人当たりのコスト(円) | — | 509 | 504 | |

【事務事業の今までの成果】

介護予防支援計画の作成により、適切な服薬が可能となったりデイサービス利用により閉じこもりの防止や認知症の進行を抑えることができています。また、家事援助などのサービス利用が可能となり、住み慣れた地域で安全に安心して暮らすことへの一役を担っていると判断する。

【事務事業を取巻く環境】

| | |
|----------------------------------|--|
| 国・県・他自治体の動向 | 厚生労働省は、要介護認定で要支援と判断された軽度の高齢者等に対するサービスについて、介護保険のサービスから切り離し、市町村に担ってもらうことを検討している。 |
| 事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等) | 現在の介護サービスが利用できなくなるのは困る。市町村単位では財源が確保できないであろう。 |

【一次評価】

| 判定 | 事業の方向性 | 判定に至った理由 |
|------------------------|------------------------|---|
| B 3 | A 現状のまま継続（実施） | 介護予防支援計画作成については、居宅介護支援事業所への委託が可能な事業である。包括支援センターとしては主に困難な事例の介護予防支援計画作成を行い、民間居宅介護支援事業所への業務委託を拡大し、ケアマネジャーや介護保険事業所への指導助言の強化および介護予防環境を整えることが、市民に対し有用であるため、B3判定とした。 |
| | B 1 見直しの上で継続（拡大） | |
| | B 2 見直しの上で継続（手段改善等） | |
| | B 3 見直しの上で継続（縮小） | |
| | C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大） | |
| | C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等） | |
| | C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小） | |
| | D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業 | |
| E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業） | | |

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

直営で行っている介護予防支援計画作成について再検討を行い業務委託を進める。
主任ケアマネジャーを中心に研修参加などにより専門性や資質の向上を図る。

【二次評価】

| 判定 | 判定に至った理由 |
|------------|--|
| B 3 | 直営で行っている介護予防支援計画の作成を再検討し、業務委託が適切な場合は、委託の方向で進めるべき事業と考えます。 |

